

平成30年4月26日

文教厚生常任委員会 委員長報告

文教厚生常任委員会の所管する部署は、保健福祉部・子どもあんしん部・教育委員会です。

【委員の紹介】

写真の上段左側から

菅原満委員、鳥飼雅司委員、内山恵子委員、村田富士子委員、
富澤啓二委員、吉田けさみ委員、金井伸夫委員、

写真の下段左側から

猪原陽輔委員長、吉田武司副委員長

以上9名



本委員会に付託された案件は、次の通り、議案18件です。

	件 名	表決の状況
議案第6号	和光市国民健康保険財政調整基金条例を定めることについて	賛成多数
議案第7号	和光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて	賛成多数
議案第9号	和光市予防接種健康被害調査委員会条例を定めることについて	全会一致
議案第10号	和光市介護老人保健福祉施設条例等の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致
議案第11号	和光市高齢者住宅条例を廃止する条例を定めることについて	全会一致
議案第12号	和光市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致
議案第13号	和光市介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致
議案第14号	和光市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例を定めることについて	全会一致
議案第15号	和光市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	全会一致

議案第16号	和光市保育クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて	賛成多数
議案第17号	和光市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて	賛成多数
議案第21号	平成29年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第4号) 〔民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	全会一致
議案第22号	平成29年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致
議案第23号	平成29年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致
議案第25号	平成30年度埼玉県和光市一般会計予算 〔民生費・衛生費のうち保健衛生費・教育費〕	賛成多数
議案第26号	平成30年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計予算	賛成多数
議案第27号	平成30年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数
議案第28号	平成30年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算	全会一致

【本日の報告】

本日は、文教厚生常任委員会に付託された議案のうち、平成30年度の予算審査の中から質疑と答弁をいくつかご紹介して、委員会の報告とさせていただきます。

●議案第25号 平成30年度埼玉県和光市一般会計予算

【民生費①】～児童福祉費、保育園費～

主な質疑と答弁



質問 新設保育園整備補助金があるが、設置場所、定員、それから開園時期について伺う。

答弁 現在予定しているのは北エリアに90名定員で保育所1施設、また南エリアに90名定員で保育所1施設となっております。いずれも平成31年4月1日開園予定です。

【民生費②】～社会福祉費、社会総務福祉費～

主な質疑と答弁

質問 統合型地域包括支援センターについて、具体的な内容や体制などはどうなっているのか伺う。

答弁 中央エリアにあるひかりのさとには、現在、高齢者の地域包括支援センター、障害児、障害者を担当します地域生活支援センターが既に入っておりますが、そこに子ども・子育てのマネジメント、それから生活困窮者のマネジメントの部分を統合していきます。運営体制については、現在ひかりのさとを運営している法人が新たに子ども・子育てのマネジメント、生活困窮者も加えて、運営していくことを想定しています。

【民生費③】～社会福祉費、社会福祉総務費～

主な質疑と答弁

質問 避難行動要支援者支援対策業務で、平成 30 年度はどのように取り組んでいくのか伺う。

答弁 避難行動要支援者の対象者に登録していただく部分と、その要支援者に支援者をつけていく、両方の作業をしていく必要があります。今年の1月に事業者連絡会があり、対象になる方については事業所を通じて登録をしてもらう依頼をしたところですが、支援者の確保については、モデル事業として地区社協の活動として取り組んでいくように進めております。

【民生費④】～生活保護費、生活保護費～

主な質疑と答弁

質問 生活困窮者自立促進支援について、事業は2社で分けてやっていると理解しているが、それぞれの相談件数と、実際に就労につながったケースはどの程度あるのか。

答弁 1月末現在の相談件数は、「すたんど・あっぷ」が93件、「すてっぷ」が70件、就労件数は、合計で36名が一般就労されています。



【教育費①】 ～教育総務費、教育振興費～

主な質疑と答弁

- 質問** 学齢簿・就学援助システム改修委託料が、前年度に比べて大幅に上がっている要因を伺う。
- 答弁** このシステム改修は、平成31年度に向けて、小学校新入学児童の入学前支給が可能になるためのものです。

【教育費②】 ～教育総務費、教育振興費～

主な質疑と答弁

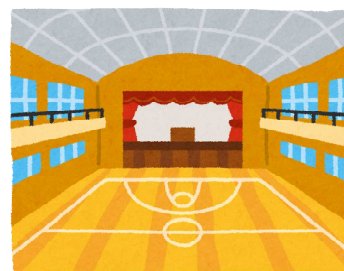
- 質問** いじめ問題対策連絡協議会を設置した効果、そして、いじめ件数は減ってきているのか伺う。
- 答弁** いじめの認知は増えていく傾向にあります。これは、いじめに対しての基準がそれぞれの学校に浸透してきた結果、小さなうちに発見をして早期対応、早期解決をするため、認知件数は上がってきております。ただ、それに伴いまして、解消率も高まってまいりますので、今のところ大きな問題になっておりません。
- いじめ問題対策連絡協議会ですが、本市でのいじめ対策としては、まず道德教育の充実、SNSについて、子供や保護者を巻き込んで注意喚起をしていく、そして、来年度以降に市全体として何らかのスローガンを立てて行こうと考えています。

【教育費③】～教育総務費、教育振興費～

主な質疑と答弁

質問 特別支援学級新設について、聴覚障害のある児童を対象にした支援学級ということだが、消耗品費が28万1,000円計上されている。この消耗品だけで運営できるのか。

答弁 現在のところ、この消耗品で運営をしていこうと考えています。まず、言語能力を高めてあげることが非常に大事になってまいりますので、いわゆるフラッシュカード的なものとか、それからホワイトボード的なものを購入する予定です。



【教育費④】～保健体育費、体育施設費～

主な質疑と答弁

質問 和光市総合体育館管理運営の諸使用料はどういう使用料なのか。

答弁 総合体育館が樹林公園の敷地内に入っているので、以前、市が樹林公園の指定管理を請け負っていましたが、その指定管理を降りたため、諸使用料という形で予算計上しています。

●議案第26号 平成30年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計予算

主な質疑と答弁

質問 財政調整基金繰入金について、これは平成29年度の予算の執行後にできるだろう1億3,000万円が計上されているということなのか。

答弁 既存の3つの基金を廃止した後、4億9,197万1,000円を財政調整基金という形で積み立てます。その財政調整基金から、今年度の支払基金からの繰入金分という形で1億3,000万円を繰り入れるというものです。保険税を5%とするために毎年度この1億3,000万円ずつ、そして法定外繰り入れを2億5,000万円ずつ入れていきます。

●議案第28号 平成30年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算

主な質疑と答弁

質問 介護認定者数が増加しているが、今後はこういった推計になっているのか伺う。

答弁 介護予防の効果を見込まないで推計すると、平成30年度1,505人、平成31年度1,574人、平成32年度1,646人で、和光市の介護予防効果をそこに補正をかけると平成30年度1,471人、平成31年度1,536人、平成32年度1,608人となっていく。これが予防効果です。

和光市も高齢者人口は増え、認定者数も確かに増えていますが、予防効果で認定者数の伸びは鈍化しているので、認定者率は10%を切っており、それが保険料等にも反映するという考えです。

以上 ご報告致しましたが審査の主な内容と採決の結果の詳細については委員会記録をご参照ください。